

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務 I		指導担当者名	齋藤 智賀子	
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	2 単位	総時間	40 時間	週時間数	1 時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>、ゼクシィ				
授業外学習 の方法	テキストを読む。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	自己紹介ウエディングプランナーのお仕事	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	2	今時の結婚式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	3	今時の結婚式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	4	結婚式場の種類と挙式スタイル	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	5	婚約から式場決定までのプロセスプランナーの役割	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	6	家族・親族の間柄がストリストを作る	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	7	家族・親族の間柄がストリストを作る	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	8	招待状の文面の種類とルール	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	9	自習:演出を調べる	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	10	BFW打合せ① <カウンセリング1>	企画・運営を考えプランニングする		
	11	BFW打合せ① <カウンセリング2>	企画・運営を考えプランニングする		
	12	BFW打合せ②企画・提案	プレゼンテーションで企画を提案する		
	13	顧客満足度を上げる接客と打ち合わせ	企画・運営を考えプランニングする		
	14	BFW打合せ③ <スケジュール・カウンセリング2・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	15	BFW打合せ④ <スケジュール・カウンセリング3・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	16	BFW打合せ⑤ <スケジュール・カウンセリング4・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	17	挙式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	18	ガーデンセレモニー	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	19	模擬結婚式	企画・運営を考えプランニングする		
	20	まとめ	前期授業の振り返りをする		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務 I		指導担当者名	齋藤 智賀子	
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	2 単位	総時間	40 時間	週時間数	1 時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>、ゼクシィ				
授業外学習 の方法	テキストを読む。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	披露宴企画	挙式披露宴の流れ		
	2	披露宴企画	進行台本の作成		
	3	ペーパーアイテムとは	招待状の基礎知識		
	4	ペーパーアイテムとは	テーブルプラン		
	5	ペーパーアイテムとは	ペーパーアイテム		
	6	市場調査と婚禮ビジネス	婚礼市場調査		
	7	市場調査と婚禮ビジネス	ランキング作成		
	8	パッケージと販売促進	販売促進		
	9	パッケージと販売促進	広告媒体の実例		
	10	パッケージと販売促進	ブライダルフェア		
	11	まとめ	後期授業の振り返りをする		
	12	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	13	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	14	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	15	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	16	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	17	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	18	BFウエディング	リハーサル		
	19	BFウエディング	本番		
	20	まとめ	反省会(担当ごとに発表をする)		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論 I	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダルの基礎知識を学習し、ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>、ゼクシィ		
授業外学習 の方法	予習復習をし、過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方
	2	結婚とは	婚姻の要件、日本の結婚状況
	3	県内の結婚式の特徴(ゼクシィ)	各エリアに合わせた形式
	4	県内の結婚式の特徴(ゼクシィ)	結婚に関する風習・いわれ
	5	ブライダル業種(県内)	ホテル、レストラン等
	6	ブライダル業種(県内)	ホテル、レストラン等
	7	ブライダル業種(県内)	結婚式場
	8	ブライダル業種(県内)	結婚式場
	9	ブライダルの基本	見合いと婚約
	10	ブライダルの基本	結納、結婚式
	11	結婚式	司会の進め方
	12	結婚式	結婚式場の内情
	13	結婚式	人前結婚式
	14	結婚式の小物	小物の種類
	15	結婚式の小物	小物の種類
	16	結婚式の小物	ウエディング小物作成
	17	結婚式の小物	ウエディング小物作成
	18	欧米の結婚式	ヘアメイク・ネイルの違い
	19	海外のウエディング	式場・アテンド・流れの違い
	20	まとめ	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論 I	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダルの基礎知識を学習し、ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>、ゼクシィ		
授業外学習 の方法	予習復習をし、過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	結婚式DVD鑑賞	衣装コーディネーター
	2	コーディネーター業務	ブライダルセールスの特徴
	3	コーディネーター業務	プレゼンテーションの手法・制約業務
	4	コーディネーター業務	プレゼンテーションの手法・制約業務
	5	手配業務	衣装・ヘアメイク・演出の手配
	6	手配業務	引き出物・引き菓子
	7	手配業務	記録・記念アイテム・花の手配
	8	手配業務	役割・進行表
	9	手配業務	アテンド業務・テーブルセッティング
	10	手配業務	サービス業務・花の管理
	11	レストラン業務(配膳)	ドリンク、デザート
	12	レストラン業務(配膳)	料理サービス
	13	期末テスト	現状まとめ
	14	検定対策	過去問プリント
	15	検定対策	過去問プリント
	16	検定対策	過去問プリント
	17	検定対策	過去問プリント
	18	検定試験	検定受験
	19	検定振り返り	検定問題自己採点
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実習 I		指導担当者名	①上田恭平 ②根本裕太 ③阿部高広	
実務経験	①レストランサービス実務経験20年 ②映像会社実務経験10年 ③映像会社実務経験6年			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	6 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	結婚式披露宴におけるプロフェッショナルなバンケットサービス力、撮影技術・編集能力を身につける。				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	講師によるオリジナルプリント資料				
授業外学習 の方法	予習復習をする。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方		
	2	レストランサービスの役割と目的	サービススタッフの役割と重要性、おもてなしの精神、レストランの種類		
	3	接客マナー・身だしなみ	制服の着こなし、清潔感、笑顔と姿勢		
	4	安全衛生の基礎知識	食品衛生、アレルギー対応、感染症対策		
	5	テーブルセットの基本	ナイフ・フォーク・グラス・ナプキンの配置、カトラリーの持ち方と交換		
	6	サービス動作の基本	トレーの持ち方、配膳・下膳、歩き方・立ち方、料理の説明		
	7	料理とドリンクの提供	提供順序、ワインサービスの基本(抜栓、サービング)		
	8	クレーム対応の基本	よくあるトラブルと対処法(冷たい料理、遅延、誤配膳など)		
	9	シチュエーション別接客練習	誕生日のお客様、外国人客、高齢者への対応		
	10	発表・評価	結婚式の披露宴を想定し、模擬的にバンケットサービスを実践する		
	11	動画作成①	自分の自己紹介を動画で作成		
	12	動画作成・発表	自分の自己紹介を動画で作成、課題発表		
	13	動画作成②	グループでの動画作成		
	14	動画作成	グループでの動画作成		
	15	動画作成・発表	グループでの動画作成、課題発表		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実習 I		指導担当者名	①上田恭平 ②根本裕太 ③阿部高広	
実務経験	①レストランサービス実務経験20年 ②映像会社実務経験10年 ③映像会社実務経験6年			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	6 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	ブライダルの司会・音響の知識と技術を学び、実践する力を身につける。				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	講師によるオリジナルプリント資料				
授業外学習 の方法	予習復習をする。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方		
	2	ブライダルの流れと演出構成	挙式と披露宴の違い／一般的なタイムライン		
	3	司会・音響の役割	「進行管理者」かつ「空間演出者」としての重要性		
	4	ホスピタリティ・プロ意識	新郎新婦・ゲスト・プランナーとの連携		
	5	司会の基本スキル	話し方・発声練習		
	6	司会の基本スキル	言葉遣い・敬語		
	7	司会の基本スキル	ナレーション台本の読み方		
	8	司会の応用スキル	披露宴の進行例と台本作成		
	9	司会の応用スキル	トラブル対応訓練		
	10	音響の基礎と演出スキル	基本機材の知識		
	11	音響の基礎と演出スキル	音響オペレーションの基本操作		
	12	音響の基礎と演出スキル	音楽演出のタイミングと効果		
	13	模擬結婚式実習(総合演習)	司会・音響・新郎新婦・ゲスト役に分かれてリハーサル		
	14	模擬結婚式実習(総合演習)	司会・音響・新郎新婦・ゲスト役に分かれてリハーサル		
	15	発表・評価	結婚式の披露宴を想定し、模擬的にバンケットサービスを実践する		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	45 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場で接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、言葉遣いなどを学ぶ。 ・社会人としての常識・マナーを身に付ける。 ・秘書技能検定2級合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「秘書検定実問題集2級」、成美堂 出版「現役秘書が教える秘書検定2級・3級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行う練習問題の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 秘書検定とは 導入
	2	マナー・接遇 人間関係と秘書	テキスト / プリント 準備 接遇マナーとは
	3	接遇マナー	テキスト / プリント 準備 身だしなみ・来客対応
	4	接遇マナー	テキスト / プリント 準備 来客対応(上座と下座・お茶の出し方)
	5	敬語・接遇用語	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	6	電話対応	テキスト / プリント 準備 電話のマナー
	7	秘書の資質(理論)	テキスト / 確認テスト 準備 求められる良識・身だしなみ
	8	職務知識	テキスト / プリント 準備 機能と役割
	9	組織	テキスト / プリント 準備 ラインとスタッフ・企業とスタッフ
	10	一般知識	テキスト / プリント 準備 財務・法務
	11	一般知識	テキスト / プリント 準備 マーケティング・カタカナ用語
	12	上司と秘書の関係	テキスト / プリント 準備 秘書の業務・PDSサイクル
	13	報告・連絡・相談	テキスト / プリント 準備 報告・連絡・相談の仕方
	14	説得・説明・依頼	テキスト / プリント 準備 説得・説明・依頼の仕方
	15	聞き方の基本	テキスト / プリント 準備 命令・指示・忠告を受ける際の聞き方
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	45 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場で接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、言葉遣いなどを学ぶ。 ・社会人としての常識・マナーを身に付ける。 ・秘書技能検定2級合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「秘書検定実問題集2級」、成美堂 出版「現役秘書が教える秘書検定2級・3級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行う練習問題の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	交際業務	テキスト / プリント 準備 慶事・弔事・贈答(上書き・水引)
	2	パーティ・会議の知識	テキスト / プリント 準備 会議の形式・種類
	3	文書作成	テキスト / プリント 準備 社内・社外文書
	4	文書取扱い・郵便知識	テキスト / プリント 準備 時事問題の理解
	5	グラフ作成	テキスト / 確認テスト 準備 グラフの種類
	6	オフィス機器・事務機器・ファイリング	テキスト / プリント 準備 資料整理・環境管理
	7	検定の振り返り	テキスト / プリント 準備
	8	まとめ	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネートⅠ	指導担当者名	海野あずみ
実務経験	美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験15年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・2年次に受験するWBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム		
授業外学習 の方法	ウエディング雑誌を見る。画像検索。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方
	2	自分の着たいドレスを見つけよう	着たいドレス検索
	3	ドレスの種類	ライン(シルエット)
	4	ドレスの種類	ライン別マップ作成 Aライン 雑誌を準備
	5	ドレスの種類	ライン別マップ作成 プリンセスライン 雑誌を準備
	6	ドレスの種類	ライン別マップ作成 ドームライン 雑誌を準備
	7	ドレスの種類	ライン別マップ作成 マーメイドライン 雑誌を準備
	8	ドレスの種類	ライン別マップ作成 スレンダーライン 雑誌を準備
	9	ドレスの種類	ライン別マップ作成 エンパイヤライン 雑誌を準備
	10	ドレスのデザインディテール	名称と種類
	11	ドレスの素材と装飾	名称と種類
	12	テスト	確認テスト
	13	ドレスのサイズ	衣装企業への見学とレクチャー
	14	ベール、グローブ、シューズ	衣装企業への見学とレクチャー
	15	ヘッドドレス、ネックレス、イヤリング、その他	衣装企業への見学とレクチャー
	16	ブライダルブーケ	ブーケの種類
	17	ブライダルブーケ	ブーケの種類別マップ作成
	18	フィッティング小物	ブライダルインナー、パニエ、アンダーウェア
	19	花嫁ドレストータルコーディネート	衣装企業への見学とレクチャー
	20	まとめ	レポート
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネートⅠ	指導担当者名	海野あずみ
実務経験	美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験15年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・2年次に受験するWBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム		
授業外学習 の方法	ウエディング雑誌を見る。画像検索。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	和装	和装の歴史、着物の生地と意匠
	2	和装	花嫁衣装の種類と各部位の名称
	3	和装	和装小物
	4	新郎の衣装	洋装の種類と各部位の名称
	5	新郎の衣装	メンズフォーマルウェアのサイズ、アクセサリ
	6	新郎の衣装	新郎和装
	7	ドレスフィッティング実習	フィッティング技術
	8	ドレスに合わせたトータルコーディネート	白ドレス
	9	ドレスに合わせたトータルコーディネート	カラードレス
	10	テスト	確認テスト
	11	参列者の衣装	両親媒酌人夫妻の衣装
	12	参列者の衣装	その他参列者の衣装
	13	ドレスの管理・お手入れ	衣装企業への見学とレクチャー
	14	トレンドのドレス	衣装企業への見学とレクチャー
	15	トレンドのタキシード	衣装企業への見学とレクチャー
	16	トレンドの和装	衣装企業への見学とレクチャー
	17	まとめ	レポート作成
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー	指導担当者名	小池 久子
実務経験	カラーコーディネーター実務経験14年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	パーソナルカラー検定モジュール1の取得。 ブライダル業界において通用するカラーの知識を身に付ける。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	はじめてのパーソナルカラー パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック 新配色カード199a		
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1章式の自然を表す色 日本の色の歴史赤系、橙系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	2	第1章色と生活 色の種類 赤系統	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	3	第1章色の種類橙系統 第2章色の仕組み I 光について	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	4	第1章色の種類 黄系統 第2章色の仕組み II 光源、目の構造	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	5	第1章日本の色の歴史 身分、禁色、襲の色目 日本の色の歴史 黄系、緑系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	6	第1章わび・さび 江戸時代の色彩文化 日本の色の歴史青系、紫系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	7	ファッション概論、ブライダル色彩	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	8	肌、皮膚、髪 色と種類	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	9	第1章色の種類 青系統 第2章CUS色調	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	10	第1章色の種類緑系統 第2章色の三属性 CUS色相	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	11	パーソナルカラーの特徴 色の種類(グレー)	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	12	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	13	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	14	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	15	テスト	確認テスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務Ⅱ		指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間	週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。			
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>			
授業外学習 の方法	予習復習をする。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	ウエディングプランナーのスキル	職種と仕事内容を学ぶ	
	2	情報共有とイメージ共有の仕方	テーマの作成	
	3	企画内容の策定	結婚式のリサーチ	
	4	広告戦略と集客～成約までの流れ	式場のアピールプランニングを学ぶ	
	5	顧客の動向と婚礼市場	市場やマーケティングを学ぶ	
	6	挙式のプロプログラムと意味	神前式・仏前式・キリスト教式を学ぶ	
	7	BFW打合せ①<カウンセリング>	ゲスト来校によるヒアリングとカウンセリング	
	8	BFWご提案プレゼン資料制作	プランをグループに分かれプレゼン準備をする	
	9	BFW打合せ②<ご提案プレゼン>	プランをグループに分かれプレゼン準備をする	
	10	プレゼン結果まとめ	プレゼン	
	11	演出決定	企画内容の決定	
	12	BFW打合せ③ <スケジュール・カウンセリング2・招待状>	打合せ	
	13	招待状準備	招待状のサンプル作成	
	14	ウエディング準備	小物・動画・フォト関連の準備	
	15	ウエディング準備	小物・動画・フォト関連の準備	
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>		
授業外学習 の方法	予習復習をする。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	ウエディング準備	新郎新婦衣装
	2	ウエディング準備	ブーケ・会場装花
	3	ウエディング準備	ブーケ・会場装花
	4	ウエディング準備	音響・照明
	5	ウエディング準備	音響・照明
	6	ウエディング準備	運営確認
	7	テーブルマナー実習	パンケットの準備
	8	パンケット実習	パンケットの準備
	9	BFウエディング準備	校内リハーサル
	10	BFウエディング準備	校内リハーサル
	11	BFウエディング準備	校内リハーサル
	12	BFウエディング準備	会場リハーサル
	13	BFウエディング最終確認	会場リハーサル
	14	BFウエディング	結婚式
	15	まとめ	レポート作成
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネートⅡ	指導担当者名	海野あずみ
実務経験	美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験15年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・WBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム		
授業外学習 の方法	テキストを読んでおく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業の流れについて解説
	2	前期の振り返り	振り返り
	3	フィッティング技術	名称を学ぶ
	4	フィッティング実習	フィッティング実務・採寸・対妊婦
	5	ドレスサロン見学	新郎和装・実物を見る
	6	列席者の衣装 * 特にモーニング	新郎和装・実物を見る
	7	ドレスコーディネーターの業務(貸衣裳店)	それぞれのショップの特性と流れ
	8	ドレスコーディネーターの業務	(セルドレスショップ)(オーダードレスショップ)
	9	ドレスメンテナンス	(セルドレスショップ)(オーダードレスショップ)
	10	検定対策	過去問題
	11	検定対策	過去問題
	12	検定対策	過去問題
	13	検定対策	過去問題
	14	ドレスコーディネーター検定	
	15	まとめ	レポート作成
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	接客マナー	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウェディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客検定2級・準1級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定受験ガイド準1級」「サービス接客検定実問題集1-2級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行う練習問題の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える
	2	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	3	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを備えている
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を心得ている
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている
	7	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 清潔感について理解できる
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる
	11	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの意義を理解できる
	12	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 商業用語・経済用語が理解できる
	13	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている
	14	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる
	15	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 時事問題を理解している
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	接客マナー	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウェディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級・準1級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定受験ガイド準1級」 「サービス接客検定実問題集1-2級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	対人技能 人間関係	テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる
	2	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる
	3	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている
	4	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 接客者としてのマナーを心得ている
	5	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客用語を知っている
	6	対人技能 服装	テキスト / プリント 準備 接客者としての適切な服装が理解できる
	7	実技試験対策	実技試験のデモンストレーション
	8	実技試験対策	実技試験練習
	9	実技試験対策	実技試験練習
	10	実技試験対策	実技試験練習
	11	実技試験対策	実技試験練習
	12	後期試験	試験問題 準備
	13	試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備
	14	実務技能 問題処理・環境整備	テキスト / プリント 準備 問題処理、環境整備について理解できる
	15	まとめ	テキスト / プリント 準備 まとめ
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定2級取得。 ブライダル全般の知識を身に付ける。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIA出版 ブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>		
授業外学習 の方法	テキストの振り返りや過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方
	2	結婚の定義	結婚の法的意義・結婚の成立・婚姻の要件、日本の結婚状況
	3	日本の結婚式: 歴史と文化	日本の結婚式の歴史・結婚に関する風習・いわれ
	4	欧米の結婚式: 歴史と文化	欧米の結婚式と文化
	5	欧米の結婚式: 歴史と文化	キリスト教の結婚式・その他の宗教と結婚式
	6	ブライダルビジネス	ブライダルビジネスとブライダルマーケット
	7	ブライダル業種	ホテル・レストラン棟
	8	ブライダル関連業種	婚活ビジネス・エイジェント・プロデューサー・衣装、結婚情報サイト等
	9	ブライダルのエリア特性	関東・名古屋・北海道・富山・四国・沖縄
	10	ブライダル業界の1年と集客システム	ブライダル業界の1年と集客システム
	11	ブライダルの基本	見合いと婚約・結納、結婚式・ブライダル準備・式の種類・披露宴・二次会
	12	コーディネーター業務	コーディネーター業務とは
	13	新規業務	集客方法
	14	ブライダルセールス	商品と特徴
	15	ホスピタリティ、プランニング、プレゼンテーション	新規フォロー
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論Ⅱ	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定2級取得。 ブライダル全般の知識を身に付ける。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIA出版 ブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>		
授業外学習 の方法	テキストの振り返りや過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	打ち合わせ業務	初回～当日までの流れを知る
	2	コンセプトシート	コーディネートの考え方
	3	コンセプトシート	衣装設定から披露宴、引き出物
	4	手配業務	コンセプトに基づいて
	5	当日業務	式、披露宴の流れ確認
	6	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	7	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	8	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	9	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	10	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	11	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	12	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	13	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	14	検定の過去問	過去問プリント・実技練習
	15	検定振り返り	自己採点
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライズビューティI	指導担当者名	近内 睦美
実務経験	エステティシャン実務経験5年 美容部員8年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	フェイシャルエステや肌のトリートメント技術などブライダルエステについての基礎を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	フェイシャルマニュアル		
授業外学習 の方法	技術練習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	身だしなみ・エステ室の使用の仕方
	2	衛生消毒	手指消毒・ベッドセッティング・タオル
	3	フェイシャル導入	顔と手の名称・ポイントクレンジング(ウィッグ)
	4	クレンジング	ポイントクレンジング・クレンジング(ウィッグ)
	5	クレンジング拭き取り	ウエットコットン・ホットタオル拭き取り
	6	クレンジング通し	手順の確認テスト
	7	クレンジング	相モデル・モデルの誘導・セッティング
	8	フェイシャルトリートメントの目的	相モデル・モデルの誘導・セッティング
	9	マッサージ	マッサージのデモ・マニュアル作成
	10	マッサージ	相モデルで練習
	11	クレンジング・パックマッサージ	相モデルで練習
	12	試験の流れ	相モデルで練習
	13	クレンジング・マッサージ・パック	相モデルで練習
	14	クレンジング・マッサージ・パック	相モデルで練習
	15	クレンジング・マッサージ・パックのテスト	相モデル
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアル	指導担当者名	阿部 高広
実務経験	映像会社実務経験6年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	撮影や映像編集の技術を学び、ブライダル業界での仕事に役立てる。		
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一眼レフカメラ、パソコン、iPad		
授業外学習 の方法	動画を観る。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	オリエンテーション	講師紹介
	2	結婚式の映像	鑑賞
	3	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	4	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	5	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	6	フォトウエディング 新郎新婦ヒアリング①	打合せ
	7	フォトウエディング 新郎新婦ヒアリング②	打合せ
	8	ロケーション確認・撮影練習	外部会場やロケーションで撮影練習
	9	ロケーション確認・撮影練習	外部会場やロケーションで撮影練習
	10	ロケーション確認・撮影練習	外部会場やロケーションで撮影練習
	11	ロケーション確認・撮影練習	外部会場やロケーションで撮影練習
	12	フォトウエディング	外部会場やロケーションで撮影
	13	編集作業	撮影した写真の編集
	14	撮影写真確認会	撮影した写真の確認・反省点
	15	期末テスト	一眼レフを使い撮影・編集についてのテスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	フラワーコーディネーター	指導担当者名	萩原 恵望子
実務経験	花屋・フラワーコーディネーター実務経験12年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	花の知識や技術を習得することにより、知識や見識が広がり、表現方法や想像力を身につけることができる。 就職後も、その広い視点をいかし対応できる能力を養う。 また、心に潤いを与える美的情操の科目として豊かな人間性を養うことを目的とする。		
評価方法 評価基準	授業態度、製作物の取り組み方、完成度、レポート等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	ウエディング雑誌		
授業外学習 の方法	作品のレポートまとめ。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	花の名前や種類、他己紹介	今まで意識のなかった花へ意識を向けさせる
	2	プリザーブドフラワー	プチギフトとして提案もできるアレンジ製作
	3	ウエディングでの花の役割	ブーケやテーブル装花の種類を調べる
	4	ウエディングでの花の役割	コーディネートマップ作成
	5	ハーバリウム	名札立てなどにも応用がきくアレンジ製作
	6	つくりりボン、アートフラワー	様々な場面で役立つ作りりボンを学ぶ
	7	ハーバリウム上級編	アクリル樹脂の扱いなども学ぶ
	8	生花のアレンジメント	生花の切り方、扱い方などを学び日常にいかす
	9	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ
	10	テーブル装花やその他の小物	ヘアオーナメントやその他の花の役割
	11	グループにて1 アレンジ製作	他者の意見を取り入れたりかかわりを大切にしながら美意識を高めていく
	12	グループにて2 アレンジ発表	他者の意見を取り入れたりかかわりを大切にしながら美意識を高めていく
	13	生花のアレンジメント1	他者の意見を取り入れたりかかわりを大切にしながら美意識を高めていく
	14	生花のアレンジメント2	他者の意見を取り入れたりかかわりを大切にしながら美意識を高めていく
	15	まとめ	フラワーコーディネーター作品作成
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク(選択コースⅠ)	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3・2級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	「ポイントメイク」	・2級試験の指定項目のデモンストレーション
	2	「アイブロウ①」	・アイブロウの基礎知識・アイテム・基本の描き方・アイブロウテクニック
	3	「アイカラー①」	・アイカラーの基礎知識・アイテム・基本のアイカラーの入れ方 ・基本のアイカラーブラシテクニック
	4	「アイライン①」	・アイラインの基礎知識・アイテム・基本のアイラインの入れ方 ・基本のアイラインテクニック(ペンシル)
	5	「アイライン②」	・基本のアイラインテクニック(リキッド)
	6	「ビューラー & マスカラ」	・ビューラー、マスカラの基礎知識・アイテム・基本のリップの描き方 ・リップテクニック
	7	「アイメイクトータルレッスン①」	・アイブロウ・アイメイクトータルレッスン
	8	「リップ」	・リップの基礎知識・アイテム・基本のリップの描き方・リップテクニック
	9	「ベーシックポイントメイク」	・アイブロウ・アイメイクトータルレッスンアイメイク・チーク・リップ
	10	「ポイントメイクトータルレッスン①」	・試験課題を意識した、ポイントメイクレッスン
	11	「顔の分析」	・基本のプロポーション・個性の分析・バランスの分析・メイクプラン
	12	「ベースメイク」「顔の分析・フルメイク①」	・ベースメイクのテクニック(ブラシテクニック)・基本のプロポーションに近づけるフルメイク
	13	「錯覚とメイクアップ」	・線の錯覚・直線と曲線 半顔メイク実践・色の錯覚・色彩とメイクアップ
	14	「模擬試験レッスン①」	模擬試験①
	15	「模擬試験レッスン②」	模擬試験②
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル(選択コースⅠ)	指導担当者名	五十嵐 愛
実務経験	ネイリスト実務経験15年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ネイル検定3級、ジェルネイル検定初級を取得。 ネイルの基礎技術・知識を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	ネイリスト技能検定1級・2級・3級完全対策バイブル、JNAテクニカルシステムジェルネイル、ネイルキット		
授業外学習 の方法	技術練習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	3級検定内容	検定内容のレクチャー
	2	3級検定内容	ネイルケア
	3	3級検定内容	ポリッシュの使用法
	4	3級検定内容	衛生管理・試験内容
	5	ジェルネイルの基礎	ジェルネイルの基本をレクチャー
	6	ジェルネイルカラーリング	ジェルとは ドライケア
	7	ジェルネイルアート	ジェルとポリッシュの違い
	8	ジェルネイルアート	ジェルとポリッシュの違い
	9	ジェルネイルカラーリングからアート	ジェルアート(ピーコック)
	10	ジェルネイルカラーリングからアート	ジェルアート(ピーコック)
	11	ジェルネイル通し計測	試験の流れを通して計測
	12	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	13	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	14	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	15	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライズビューティⅡ	指導担当者名	海野 あずみ
実務経験	美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験15年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダルの現場で使うヘア・メイクの技術を身につける。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	予習復習をする。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	2	ホットカーラーの巻き方	ウィッグを使用して練習
	3	コテの使用方法	ウィッグを使用して練習
	4	ブラッシング種類を知る、束ね方	ウィッグを使用して練習。ヘアゴム準備
	5	ピンの種類を知る、ピンの止め方	ウィッグを使用して練習。ヘアピン準備
	6	編み込む(三つ編み)	ウィッグを使用して練習
	7	編み込む(表編み込み)	ウィッグを使用して練習
	8	編み込む(裏編み込み)	ウィッグを使用して練習
	9	編み込む(ローブ編み)	ウィッグを使用して練習
	10	テスト	相モデルでドレスに合わせたヘアを作る
	11	ハーフアップ	ウィッグを使用して練習
	12	トップアップ	ウィッグを使用して練習
	13	ドレス着装 ヘアメイク	相モデルで実践
	14	和装花嫁 ヘアメイク	相モデルで実践
	15	まとめ	和装・洋装花嫁実践
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実習	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	本物の結婚式を通して、ウエディングに必要な知識を身に付ける。 プランニングから当日の運営まですべてを体験する。		
評価方法 評価基準	授業態度、取組の姿勢、レポート等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	講師作成プリントなど。		
授業外学習 の方法	予習復習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	打合せ	各担当ごとに打合せ
	2	打合せ	各担当ごとに打合せ
	3	打合せ	各担当ごとに打合せ
	4	打合せ	各担当ごとに打合せ
	5	挙式校内模擬練習	本番同様の流れで練習
	6	挙式校内模擬練習	本番同様の流れで練習
	7	挙式校内模擬練習	本番同様の流れで練習
	8	挙式校内模擬練習	本番同様の流れで練習
	9	挙式校内模擬練習	本番同様の流れで練習
	10	挙式校内模擬練習	本番同様の流れで練習
	11	挙式校内模擬練習	本番同様の流れで練習
	12	挙式校内模擬練習	本番同様の流れで練習
	13	最終確認	担当ごとの役割と準備物の確認
	14	BFウエディング	当日の動きの確認、最終準備物の確認
	15	まとめ	振り返りと反省点
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク(選択コースⅡ)	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定2級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3・2級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	実技練習	相モデル
	2	実技練習	相モデル
	3	実技練習	相モデル
	4	実技練習	相モデル
	5	実技練習	相モデル
	6	実技練習	相モデル
	7	実技練習	相モデル
	8	実技練習	相モデル
	9	実技練習	相モデル
	10	実技練習	相モデル
	11	実技練習	相モデル
	12	実技練習	相モデル
	13	実技練習	相モデル
	14	模擬試験	相モデル
	15	2級実技試験	試験時間(50分)
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル(選択コースⅡ)	指導担当者名	五十嵐 愛
実務経験	ネイリスト実務経験15年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ネイル検定3級、ジェルネイル検定初級を取得。 ネイルの基礎技術・知識を学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	ネイリスト技能検定1級・2級・3級完全対策バイブル、JNAテクニカルシステムジェルネイル、ネイルキット		
授業外学習 の方法	技術練習など。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	2	ジェルネイル検定対策	試験の流れを通して計測
	3	ジェルネイル検定初級	検定受験
	4	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	5	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	6	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	7	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	8	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	9	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	10	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	11	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	12	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	13	3級検定内容通し練習	試験の流れを通して計測
	14	模擬試験	試験の流れを通して計測
	15	検定対策	試験の流れを通して計測
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルVMD	指導担当者名	市川 美佳
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ディスプレイの知識やセンスを身に付け、ブライダルの仕事の現場で役に立つスキルを身に付ける。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 学校法人文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」の必要ページコピー、授業時間内の資料配布		
授業外学習 の方法	ブライダルの雑誌などからディスプレイされているものを見ておく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	オリエンテーション	VMDについて
	2	ディスプレイ・VP・VMD概論	ディスプレイ・VPについて
	3	ディスプレイ・VP・VMD概論	リテールディスプレイについて
	4	ディスプレイ・VP・VMD概論	ビジュアルマーチャンダイジングについて
	5	ディスプレイ・VP・VMD概論	ビジュアルプレゼンテーションについて
	6	ディスプレイ・VP・VMD概論	什器・器具・マネキン・ボディ・オブジェについて
	7	企画・実技	テーマ別ディスプレイの企画・実技
	8	ディスプレイ制作	グループごとに企画書を作成
	9	ディスプレイ制作	材料の準備
	10	ディスプレイ制作	制作
	11	プレゼン	制作のプレゼンテーション
	12	ブライダルサロンディスプレイ	衣装ディスプレイ
	13	ブライダルサロンディスプレイ	小物、ウエディングアイテム
	14	ブライダルサロンディスプレイ	ウエルカムボードについて
	15	ディスプレイ・VP・VMDの実際	ディスプレイ・VP(ウインドーディスプレイ)
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル演出		指導担当者名	①今泉礼奈 ②平木隆太 ③阿部高広	
実務経験	①司会実務経験25年 ②音響実務経験7年 ③映像会社実務経験6年			実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	ウエディング学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
単位数	1 単位	総時間	45 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	ブライダルの司会・音響の知識を身につけ実践する。 ブライダルの撮影・映像編集の知識、技術が身に付く。				
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	音響機材・一眼レフ・ビデオカメラ				
授業外学習 の方法	予習・復習をする				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	司会・音響について	オリエンテーション		
	2	司会について	披露宴での司会内容を考えよう		
	3	音響について	披露宴での曲を選曲しよう		
	4	司会練習	機材を使用して実践		
	5	音響練習	機材を使用して実践		
	6	司会練習	機材を使用して実践		
	7	音響練習	機材を使用して実践		
	8	グループ発表	グループごとに披露宴のシチュエーションを想定して発表		
	9	オリエンテーション	計画・運営担当の説明		
	10	BFウエディングの映像	過去DVDIによるレクチャー		
	11	BFウエディングの映像編集	WEBデータを使用し撮影と編集をする		
	12	ビデオカメラでの撮影編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモを使い、幅広い撮影手法での撮影		
	13	ビデオカメラでの撮影編集	一眼レフ・ビデオカメラ・オスモを使い、幅広い撮影手法での撮影		
	14	ビデオカメラでの撮影編集	編集を行う		
	15	BFウエディング映像撮影	当日の新郎新婦の撮影・編集		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					